

平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	ビジネスアカウンティング	担当教員	奥野 泉 (非常勤)		
学年学科	1 年次 全専攻	後期	選択	2 単位	
学習・教育目標	(B-1) 50%、(D-5) 50%		JABEE 基準1(1):(e)(50%) (h)(50%)		
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 技術者が企業経営に参画するに当り、技術的解決手法のみでなく企業を継続的に発展させるために企業活動の実態を計数し把握する管理会計手法を身に着ける必要がある。 計数管理業務にスムーズに入っていくため、会計用語の意味と背景を理解し、的確に経営課題を設定し、企画立案から実施に亘る計数管理実務能力を慣れ親しんだ工学的モデルを用い、 <b>B/S、P/L、C/F、限界利益</b> を中心に身に着ける。 具体的には以下の能力を持った人材の育成を目標とする。 ①複式簿記の歴史と管理会計の仕掛けを理解している ②簿記と計数管理(経理)の役割・仕事を把握している ③簿記の仕事(B/S、P/L)及び実務処理の概要を把握している ④経理の仕事(B/S、P/L、C/F)及び実務処理の概要を把握している ⑤原価管理及原価計算の概要を把握している ⑥企業監視モニターとしての限界利益を使い込める ⑦会社四季報を読み、経営分析に応用できる		<b>成績評価の方法：</b> 中間考査 100 点 + 期末試験 100 点 + 課題レポート評価 50 点による総得点率 (%) によって成績評価を行う。  <b>達成度評価の基準：</b> 各回に教室外学習として与えた課題に関するレポート及び総合課題レポートとして提出する。また、中間考査・期末試験について授業内容の掌握状況を確認する。これらにより、その 6 割以上を正答の、または、課題レポート完成のレベルに達していること。成績評価への重みづけは均等である。 ① 工学モデルを用い商業思想を説明できる ② 企業活動内容を計数的に把握し評価する手法を理解している ③ 財務諸表(B/S,P/L,C/F)から企業活動を評価・説明できる ④ 原価管理手法を理解し、業務改善の課題設定ができる ⑤ 企業監視モニターとして限界利益の有効性を理解し使える ⑥ 会社四季報・財務諸表等から経営分析ができる			
<b>授業の進め方とアドバイス:</b> 企業の実態を的確に把握するためには、知識だけではなく課題を確実に設定・実行できる知恵が重要となる。分かり易く解説し通常課題の切り口を提供するので、確実に実行し知恵にすることを期待する。講義の時間配分は下記の通り。 ① 課題(宿題)の提出と発表+補足説明(復習) 約 20 分      ②解説・実践・演習 約 50 分 ③ 課題(宿題)の提示とその解説 約 20 分					
<b>教科書および参考書：</b> 講師の作成した「プリント」を使用する。 参考書 財務を制するものは企業を制する(井原隆一著 PHP文庫) 稲盛和夫の実学(稲盛和夫著 日経ビジネス文庫)					
<b>授業の概要と予定：後期</b>			<b>教室外学習</b>		
第 1 回：家計簿と違う複式簿記の歴史と計数管理の工学的モデル及び簿記色々(商業簿記・銀行簿記・工業簿記・農業簿記)	家計簿と違う複式簿記の歴史と計数管理の工学的モデル及び簿記色々に関する課題レポートの作成				
第 2 回：簿記と計数管理(経理)の役割及び仕事の内容	簿記と計数管理(経理)の役割及び仕事の内容に関する課題レポートの作成				
第 3 回：簿記実務の流れと処理(仕訳と転記)	簿記実務の流れと処理(仕訳と転記)に関する課題レポートの作成				
第 4 回：簿記実務の流れと処理(貸借対照表：B/S)	簿記実務の流れと処理(貸借対照表：B/S)に関する課題レポートの作成				
第 5 回：簿記実務の流れと処理(損益計算書：P/L)	簿記実務の流れと処理(損益計算書：P/L)に関する課題レポートの作成				
第 6 回：経理実務の流れと処理(財務会計・管理会計)	経理実務の流れと処理(財務会計・管理会計)に関する課題レポートの作成				
第 7 回：経理実務の流れと処理(キャッシュフロー：C/F)	経理実務の流れと処理(キャッシュフロー：C/F)に関する課題レポートの作成				
第 8 回：中間考査による理解度の確認					
第 9 回：工業簿記(製造原価報告書)	工業簿記(製造原価報告書)に関する課題レポートの作成				
第 10 回：原価管理実務の流れと処理(原価計算)	原価管理実務の流れと処理(原価計算)に関する課題レポートの作成				
第 11 回：原価管理実務の流れと処理(採算性・限界利益)	原価管理実務の流れと処理(採算性・限界利益)に関する課題レポートの作成				
第 12 回：売上げ原価と業態(製造販売事例)	売上げ原価と業態(製造販売事例)に関する課題レポートの作成				
第 13 回：原価低減(コスト意識・コストダウンツール)	原価低減(コスト意識・コストダウンツール)に関する課題レポートの作成				
第 14 回：生産性と計数(減価償却・PER・PBR)	生産性と計数(減価償却・PER・PBR)に関する課題レポートの作成				
第 15 回：会社四季報等の見方(経営分析等)	会社四季報等の見方(経営分析等)に関する課題レポートの作成				
<b>期末試験</b>					
第 16 回：フォローアップ(期末試験の解答の解説など)					